

第5回ソーシャルワーク実践教育研修講座

期 日：2004（平成16）年1月10日（土）～11日（日） - 宿泊を原則とします。1日目夕食は各自ご自由にお取りください。 -
 場 所：国立オリンピック記念青少年総合センター（センター棟）：東京都渋谷区代々木神園町3-1
 主 催：社団法人日本社会福祉士養成校協会、社団法人日本社会福祉教育学校連盟（法人許可申請中）
 後 援：厚生労働省（予定） 文部科学省、社団法人日本社会福祉士会、日本社会福祉学会、日本社会福祉実践理論学会、日本地域福祉学会、日本福祉教育・ボランティア学習学会、日本子ども家庭福祉学会、全国高等学校長協会家庭部会福祉科高等学校長会、ソーシャルケアサービス従事者研究協議会
 対 象：社会福祉士養成校等のソーシャルワーク実践教育担当教員、高等学校の社会福祉担当教員、大学院生等
 定 員：200名
 締 切：11月28日（金）必着：参加費の振込をもって申込み受付とします。
 参加費： 日本社会福祉士養成校協会・社団法人日本社会福祉教育学校連盟会員校の教員、高校教員及び大学院生：15,000円
 上記以外：30,000円
 教育交流懇談会（第1日目）：4,000円（別会場に移動します）
 連絡先：社団法人日本社会福祉士養成校協会事務局 電話：03(5369)2737 E-mail：info@jascsw.jp

本講座は過去4回開催され、大学・高校の教員が参加し多大な成果を上げてきました。昨年から社団法人日本社会福祉士養成校協会（社養協）が主催団体となり、関係団体の協力を得て開催しています。社会福祉士養成校の数は280あまりに上り、平成15年9月末現在48,409名が社会福祉士として、17,985名が精神保健福祉士として社会福祉振興・試験センターに登録され、様々な領域で活躍しています。社会的にもジェネリック・ソーシャルワークに対する期待が一層高まる中、ソーシャルワーク実践の価値・倫理に関する教育、援助方法、その演習にも一層重みが置かれております。実践教育を担当する我々は、常に教育のあり方や方法を研究し、その向上に努めなくてはなりません。また、介護福祉士等専門職を高等学校でも養成するいま、教授法や教育のあり方については、高等学校と大学等教育機関の連携や情報の共有はもはや欠かせないものとなっています。

大学院・大学・専修学校・高等学校等のソーシャルワーク実践教育担当者が一堂に会し、模擬授業やワークショップを通して学び、交流する機会として本講座を設けました。ぜひ、この機会に自らのソーシャルワーク実践教育を見直すために、あるいは最新のソーシャルワーク実践教育方法の教授法を学ぶために、多くの方が参加されることを期待します。

社団法人日本社会福祉士養成校協会会長 高橋 重宏（日本社会事業学校校長）

プログラム

	時 間	内 容 ・ 講 師（敬称略）
第1日目	13:00～13:15	開講・オリエンテーション
	13:15～14:15	基調講演 『ソーシャルワーク実践教育のあり方-第18期日本学術会議社会福祉・社会保障研究連絡委員会対外報告：ソーシャルワークが展開できる社会システムづくりへの提言との関連で-』 高橋 重宏（日本社会福祉士養成校協会会長・日本社会事業学校校長）
	14:15～14:45	<質疑応答>
	14:45～15:00	～休憩～
第2日目	15:00～17:00	ワークショップ <社会福祉士養成教育部会・高校福祉科部会：合同>～演習に関する教材や教授法の向上～ A 教材関係 前田ケイ（ルーテル学院大学） B ロールプレイなどの教授法 福山和女（ルーテル学院大学） C 演習のあり方 米本秀仁（北星学園大学） D ソーシャルワーク教育における倫理・価値 川村隆彦（城西国際大学） E コミュニティワークに関する演習 川廷宗之（東海大学）
	18:00～20:00	教育交流懇談会
	9:00～12:00	ワークショップ <社会福祉士養成教育部会・高校福祉科部会：合同>～演習に関する教材や教授法の向上～ A 教材関係 前田ケイ（ルーテル学院大学） B ロールプレイなどの教授法 福山和女（ルーテル学院大学） C 演習のあり方 米本秀仁（北星学園大学） D 教授法 得津慎子（関西福祉科学大学） E コミュニティワークに関する演習 川廷宗之（東海大学）
	13:00～15:30	模擬授業とディスカッション
		<社会福祉士養成教育部会>
		A 社会福祉援助技術演習 山中京子、松田博幸（大阪府立大学）
B 個別援助技術の援助計画作成技法 澁谷 哲（福島学院大学）		
C 援助技術演習における「知識」と「わざ」 米本秀仁（北星学園大学）		
D 対人援助の関係性（演習） 村田久行（東海大学）		
E ロールプレイを中心とした社会福祉援助技術演習の持ち方 小松 啓（中部学院大学）		
<高校福祉科部会>（同一会場で3課題を行います）		
『高校福祉科の諸課題』		
課題：1 教育課程 嶋田麻知代（愛知県立古知野高等学校）		
課題：2 教育実習・教員免許 岡 寿枝子（川崎市立川崎高等学校）		
課題：3 指導資料 佐々木博美（神奈川県立二俣川看護福祉高等学校）		
・司会：鈴木恭太（千葉県立松戸矢切高等学校）		
・コメンテーター：矢幅清司（国立教育政策研究所教育課程センター・文部科学省初等中等教育局）		

申込要領

申込方法：下記申込書(コピー可、1人1枚)に必要事項をご記入のうえ、11月28日(金)までにFAXにてお申込ください。

*E-mailによる申し込みは、受け付けません。

申込先(お問合わせ先): 社団法人 日本社会福祉士養成校協会事務局

東京都新宿区三栄町8番地 森山ビル西館501号 TEL:03-5369-2737 FAX:03-5369-2572

E-mail: info@jacsw.jp

支払方法: お申込と同時に参加費をお振込ください。

お申込のキャンセルは、12月19日(金)までをお願いします。なお、それ以後のキャンセルにつきましては、参加費のご返却はいたしかねますのでご了承ください。

< 参加費振込先 >

郵便振替口座: 00130-0-68457

口座名称: 社団法人日本社会福祉士養成校協会

受講可否のお知らせ等について

受講が可の場合は開講1ヶ月前までに受講票をお送りします。それまでは特にご連絡はいたしません。

送金者が受講者と異なる場合や、2名以上まとめてご送金の場合は、郵便振替用紙の通信欄に受講者名を必ず明記してください。

受講票送付後の受講者の変更はできませんのでご了承ください。

キリトリ線

第5回ソーシャルワーク実践教育研修講座 参加申込書
(FAX: 03-5369-2572)

フリガナ		男 ・ 女	参加費(該当に)	受講料	・ 社養協・学校連盟の教員・高校福祉科 教諭・大学院生	15,000円	振込日 月 日
氏名				・ 上記以外の方	30,000円		
				・ 教育交流懇談会 (参加する方のみ)	4,000円		
				合計	円		

該当箇所を付けてください

ワークショップ: 社会福祉士養成教育部会・高校福祉科部会 合同					
(1日目午後)	第1希望	A・B・C・D・E		第2希望	A・B・C・D・E
(2日目午前)	第1希望	A・B・C・D・E		第2希望	A・B・C・D・E
模擬授業と ディスカッション (2日目午後)	< 社会福祉士養成教育部会 >			< 高校福祉科部会 >	
	第1希望	A・B・C・D・E	第2希望	A・B・C・D・E	高校福祉科部会ご希望の場合はこの欄に
教育交流懇談会	参加する ・ 参加しない				
受講票 送付先	自宅 ・ 勤務先	〒		電話	
				FAX	
				E-mail	
				携帯電話	
勤務先名				電話	
				FAX	
職種	会員校教員 ・ 高校教諭 ・ 大学院生 ・ その他()				